

## 課題名：SaMDを用いた感染症検査の時短化とタスクシフティングの経済効果測定研究

代表機関：アイリス株式会社

全研究開発期間：2025年10月16日～2026年3月31日

### 研究の背景・目的：

nodoca導入が医療機関にもたらす下記の課題解決や、nodoca導入による価値を数値化・定量化し、医療現場における価値の実証とエビデンスを構築する

- 多数の患者に対し、時間をかけ過ぎずに正確な診断を実施する必要がある【業務効率化】
- 患者から医療従事者への飛沫感染リスクが伴う【感染曝露・欠勤リスク】
- 検査に際して医師の時間が拘束されている【効率化・タスクシフティング】

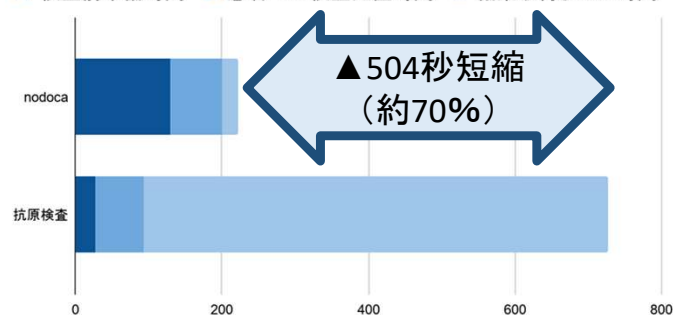
### 研究結果（総括）

- 検査時間の短縮：検査プロセス全体で504秒（約70%）の時間短縮が実現された
- 飛沫感染リスクの低減：飛沫感染リスクが17ポイント低減し、感染制御上の安全性が向上する
- 患者満足度：患者負担の軽減、発症早期から使用可能、検査の迅速性、検査キット不足への備え

### 検査時間の短縮

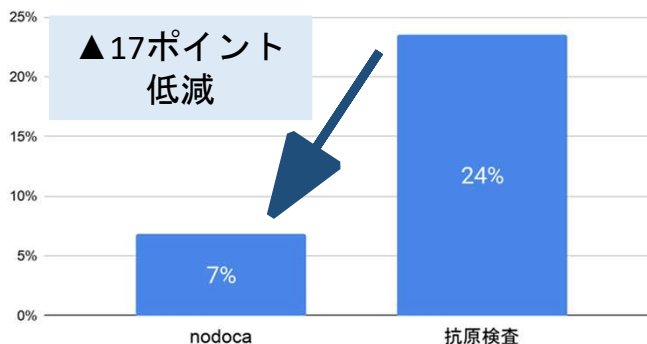
検査所要時間

■ 検査前準備時間 ■ 患者への検査処置時間 ■ 結果取得までの時間



### 飛沫感染リスクの低減

反射反応(咳・くしゃみ)の発生割合



### nodocaの特徴と利点



- 非侵襲で患者負担の軽減
- 発症早期から使用可能
- 迅速な検査
- キット不足への備え

※医療機器クラス：クラスII（管理医療機器）